

川湯温泉

川湯温泉の町は、阿寒摩周国立公園の川湯地域を散策する拠点となります。この国立公園は火山と湖と温泉で有名です。カヌー、サイクリング、山歩き、乗馬などを通して、この地域の自然美を見つけることができます。1日たっぷり楽しんだ後は、この町の温泉でゆっくり休めます。

川湯温泉の歴史

1877年、近くにある硫黄山で硫黄の採掘が始まると、この成長産業で働く人々が暮らす集落が建設されました。川湯温泉の町が温泉街として本格的に発展し始めたのは、1898年頃です。この頃に、新潟出身の浅野清次という人が、許可を得た最初の旅館を開きました。1934年に阿寒国立公園（現在の阿寒摩周国立公園）ができると、この町は観光地として発展しました。川湯では、1945年以降、戦後日本の急速な経済成長にあわせて、多くの旅館とホテルが建設・改築されました。1970年代に、この町の観光地としての人気は高まりました。

硫黄山：川湯温泉の源

川湯温泉の湯船を満たすお湯は、硫黄山の地熱で温められた湧き水を汲み上げたものです。硫黄山は、川湯温泉の町から南へ2.5kmのところにある活火山です。川湯温泉のお湯は、比較的酸性度が高く、pHは約1.6～1.9です。また、硫黄と硫化水素を多く含んでいます。このお湯には抗菌性があり、皮膚の湿疹などの症状を改善する効果があると言われています。また、温泉で温まると血圧が下がる、ということも科学研究によって示されています。近くにある硫黄山を訪れると、強い硫黄の匂いとともに、地面にある鮮やかな黄色の噴気孔から立ち昇る蒸気という別世界のような光景に遭遇します。

温泉街

川湯温泉足湯は街の中心にあり、川湯エコミュージアムセンターから歩いて数分です。この人気のある足湯は、温泉を直接使ったものです。近くには、手をつけられる「手湯」や、温泉が飲める場所などがあります。冬には、雪と氷の背景の中で温泉から蒸気が立ち昇り、とても美しい景色になります。他の見どころとしては、街の中心

を流れる温泉の川や、いくつかの足湯があり、夜にはライトアップされる場所もあります。

川湯温泉足湯の近くにある川湯神社には、日本にしかない温泉の手水舎があります。手水舎とは、神社の入口にある手洗い場で、手と口を清める儀礼に使われます。

温泉の楽しみ

1 世紀以上にわたって、たくさんの旅行者たちが、その風景の美しさと温泉での癒しを楽しみに川湯温泉を訪れてきました。川湯のような日本の温泉街への旅で一番楽しいのは伝統的な旅館に泊まることだ、という人もいます。旅館のお風呂につかり、何皿もある料理を食べ、気軽な浴衣で街を散策して 1 日を過ごせば、すっかり元気になれます。